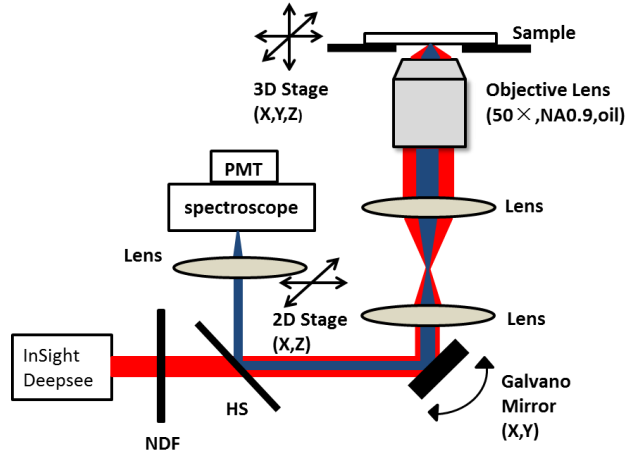


1. 資生堂の小倉さんと 86Fb のイメージング(9/21.22)

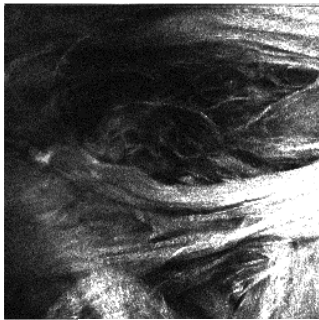
2. 実験装置

前回のビームスプリッターの部分を変更した。800、1100、1200、1300nm で計測するとき、対物レンズ後のパワーを 30mW に統一した。ガルバノは X=28、Y=0.1 でふった。



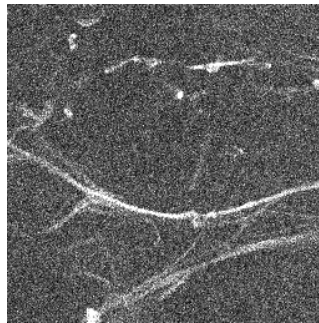
3. 実験結果

短波長領域 (コラーゲン)



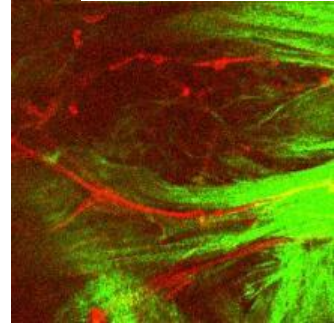
800-400

2光子蛍光(エラスチン)

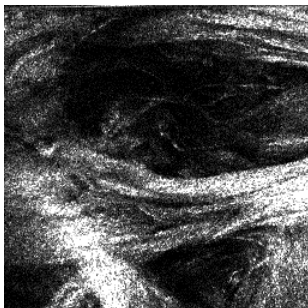


800-450

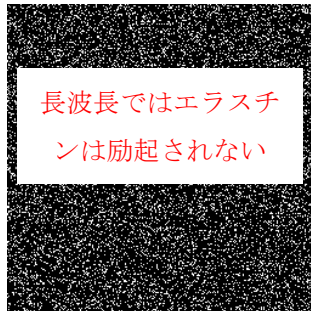
Merge 画像



長波長領域

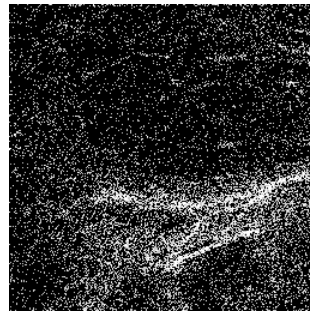


1100-550

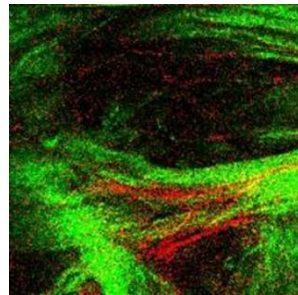


長波長ではエラスチンは励起されない

1100-450



1100-366

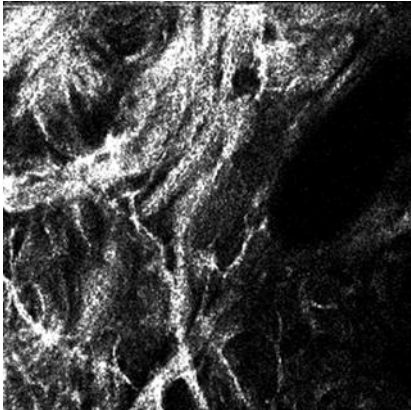


THG で画像化できる可能性あり

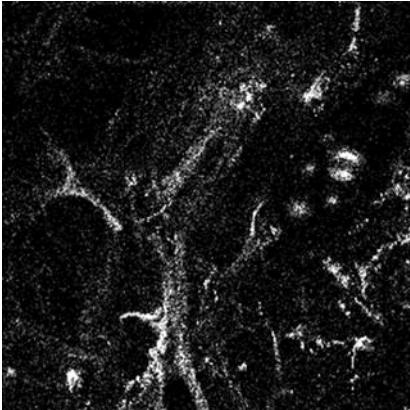
THG でエラスチンを特異的に可視化できる可能性が示唆された

1100nm

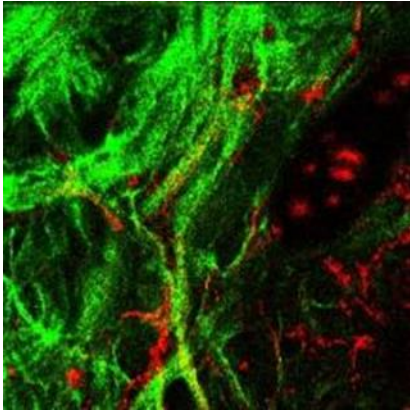
SHG



THG

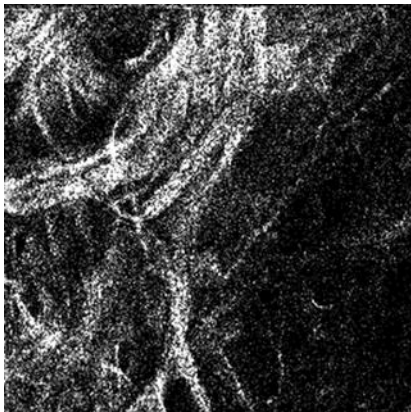


Merge 画像

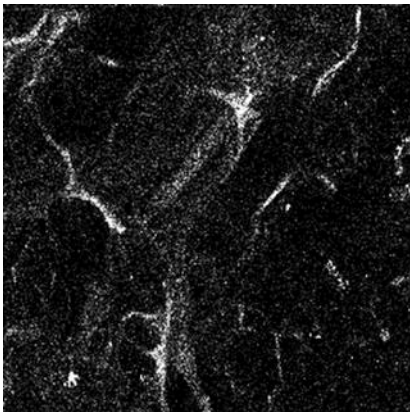


1200nm

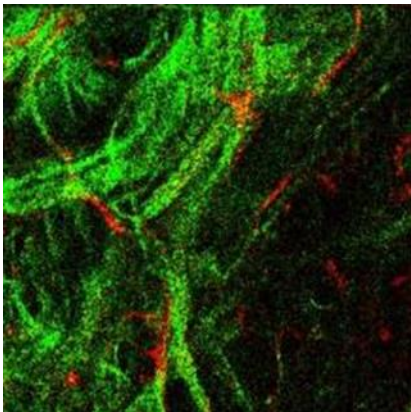
SHG



THG



Merge 画像



1300nm

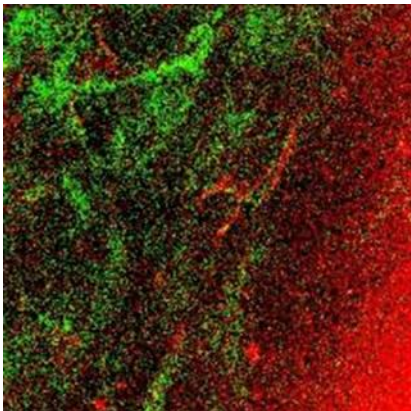
SHG



THG



Merge 画像



1100-1300nm の波長でも THG でエラスチン線維らしきものが検出される  
生体観察の場合、長波長であるほど有利だが、1300nm ではシグナルが非常に小さい

4. これから

1300nm では取れそうにないので 1200nm 周辺での観察を目指す。

Cr-Fo を使う。